

第5回 都市自治体におけるファシリティマネジメントに関する研究会

議事概要

日 時:平成 26 年 2 月 6 日(木) 13:00~15:00

開催場所:日本都市センター会館 5 階 会議室「松」

出席者:日本大学 中川雅之 座長、一橋大学大学院 木村俊介 委員、専修大学 藤田由紀子 委員、首都大学東京 山本康友 委員、長野市 竹内裕治 委員、浜松市 那須田政廣 委員、浜松市資産経営課 山本卓司 副主幹、(公財)日本都市センター鳴田理事、石田研究員、佐野研究員

議事要旨:調査研究に関する議論を交わした。

報告書における座長・各委員の執筆内容や報告書の構成について意見を交わした。

1. 報告書の内容や構成について

- ・第3部「現地調査報告」について、選定理由や特徴などをまとめた記述があると報告書を利用する自治体等にとって参考になるだろう。概要や比較表を加えた方がいいのではないかな。
⇒事務局にて執筆する。
- ・ファシリティマネジメント等への関心は非常に高いものがあるので、自治体等への配布だけでなく、報道・メディア等への周知を行った方がいいのではないかな。
⇒例年、報告書を全国都市自治体の企画担当課及び担当課、都市シンクタンク、学識者等その他行政関係者に加えて、マスコミ各社に配布している。
- ・コンパクトシティについて、青森市では高齢化や人口減少の影響もあり、市内中心部への移転が進んでいる。
- ・秦野市では長寿命化にコスト削減効果は少ないとの考えを示している。そのため、長寿命化によりコスト削減に取り組んでいる浜松市には、その根拠となる考え方について記載することを検討されたい。
- ・文中の表記として、地方公共団体と自治体があるが、統一した方が良いのではないかな。
⇒地方自治法では「地方公共団体」を用いている。また、一般的に市町村区を表す表記として「自治体」を用いることもある。本論文ではいずれかに統一することは避けるが、一貫性のある形ではなしに両者を使用している論文では記事原則に従い整理することをお願いしたい。

(文責:事務局)